保護者より　卒業おめでとう

私の三年間の思い出　村尾和広

倉吉東高には、長男と合わせて６年間お世話になりました。長男の時は、中学校の役員をしていた関係もあり、役員には当たりませんでしたが、次男の入学に合わせて、広報の役員となりました。機関誌作りの経験やノウハウがない私が出来るわけがないと思いながらも、委員会に参加していくうちに、当時からの役員の方々のおかげで、何とか業務をこなせるようになりました。また、その活動等を通して、良き経験とたくさんの友人も得られることとなりました。また、長男の時以上に、学校の取り組みである「倉吉東校のかたち」や「自主自律の精神」「文武両道の奨励」等の志に触れ、家庭での子供との関わりも学ぶ機会となりました。この事は、私の人生において、価値あるものとなりました。

また、個人的には、次男が小学校より続けていたバドミントン競技において、高校の全国大会の集大成として、インターハイに出場することとなり、おかげで妻とその祖母の３人で、青森旅行をすることとなりました。試合の結果は散々でしたが、その事がなければ、妻との旅行もなかったでしょうし、祖母に対しては親孝行らしきことも出来なかったのではないかと思います。また、本人も、これまでの努力が実った結果として、大きな自信となったでしょうし、親としては良き思い出となりました。これも、良きパートナーがいてくれたお陰だと、感謝する次第です。

高校卒業にあたって　宮本　昇

早いもので、愚息が卒業を迎える事となりました。思い起こせば長女から長男、次男と足掛け7年、長いようで、短いような高校生時代でした。

長女が入学した時には、私が実業高校卒業だったもので、進学校というものに多少の違和感がありましたが、それぞれの先生方の思いの強さに、親として嬉しく、そして頼もしく思い、こうして長い付き合いとなった事を、とても嬉しく思います。

初めの頃は、高校生にもなって親が学校と深く関わりを持つのはどんなものかと、思っていたのですが、長女の友達の父母の方々と交流を持つことがあって先生方や、父母の方々と共に学生の後押しをすることが、より良い学校環境を作り、子供達が、自分が望む方向へ進んで行くのではないかと思うようになりました。その後、幸いにも広報部員として学校事業に参加することができ、微力ながら幾何かの貢献が出来たのではと思っています。

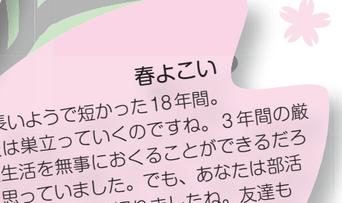
今、振り返ると、『あの時は、ああすれば、あの時は、こう言ってやれば良かったのでは』と、悔しの残る事ばかりの子育ての時期でしたが、これからは、何事も一人の人間として、精一杯の人生を送って行くことを望んでいます。

最後に、倉吉での学生生活の最後を、倉東でお世話になり、先生方や、育友会の方々にお礼を申し上げます。

春よこい

長いようで短かった18年間。

あなたは巣立っていくのですね。３年間の厳しい高校生活を無事におくることができるだろうか不安に思っていました。でも、あなたは部活や勉強にがんばり無事乗り切りましたね。友達も多くてよく家まで遊びに来ていました。私は夕食時のあなたの報告が何よりの楽しみでした。遠くに行くことに決めて、寂しくなりますが、あなたの好きな道を選んで進んでいくのです。学んだ事が社会に活かせるよう願っています。楽しい日々をありがとう、そして卒業おめでとう。



お世話になりました　山根　操

ハンドボール部に入部した娘が、１年の時、整形外科に何度か通いました。同じ状況の生徒が何人かいるとのこと、不安になった保護者で相談し、顧問にも来ていただき、懇親会を開催しました。一人一人のことを的確に語られる先生の姿に、これだったら任せられると思い、それ以後保護者で誘い合って娘の試合の応援に行くこととなりました。きつい練習を共に乗り切ってきた娘達にも、強い絆を感じました。

３年生で部活を終わり、早朝から夜まで、休日も学校で勉強することがありました。先生方にもよく質問していたようです。こんな時までつき合ってくださるのかと頭が下がりました。

大学でダンスに夢中の息子の公演会に３時間かけて行った時、会場で息子の東高時代のテース部顧問に出合いました。わざわざ来てくださっていたのでした。

兄妹で６年間、文武両道と言われるとおり、本当に勉学でも部活動でも、そして学園祭でも先生方や友だちにお世話になりました。感謝しています。このつながりを一生の財産としてくれればと願っています。本当にありがとうございました。

ご卒業おめでとうございます。　西田寛司

3年生のみなさん、保護者のみなさん、本当におめでとうございます。

倉吉東高101年目の年に入学された皆さんがそれぞれ新たな道を進まれることになり、たいへん頼もしく、うれしく思います。

たった3年間という短い高校生活ですが、人生においては最も濃厚な時代であろうと思います。倉吉東高では、楽しいこと、うれしかったこと、悲しかったこと、辛いことなどいろいろあったことでしょう。倉吉東高という道場で鍛えられたみなさんは、主体的な学習者であり、社会的自己実現のため邁進されることと信じています。

将来、地球上のどこで生活されるのかわかりません。ひょっとすると宇宙に行っている人もいるかもしれません。しかし、どこに住もうが、倉東道場で磨かれたみなさんの精神は、受験のテクニックだけを詰め込んできた人たちとは全く異なり、揺るぎない社会的自己実現者として輝き続けることでしょう。

「主体的に学ぶことができる」こと、そのことが生活力の源であり、人間力の源であることを改めて心深く刻み込んでください。そして『チーム倉東』にも感謝しましょう。

『倉東２世紀』の第1回卒業生が大いに活躍されることを保護者の一人として、同窓生の一人として、そして近所のおじさんとして私も大いに応援します。自分らしく頑張ってください。

【会員研修会】

二月十八日（土）午後より、未来中心にて開催されました。この日は大雪警報が出たほどの悪天候でしたが、評議員会（三三名）・会員研修会（一三八名）とも、予定通り実施しました。

研修会の内容を一部報告いたします。

講師：進路指導部　桑田　亨

1. 入試制度と近年における受験概況

2. 倉吉東高の進路指導
～受験を通した人間形成～

つらい受験期を頑張り抜くことでたくましく成長する。学びが受験のためでなく自分の成長のツールであることに気づき、以後も学び続ける。

3. 自己実現のために
～メンタル面を強化するために～

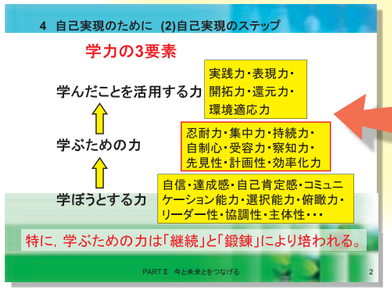
①当たり前のことを当たり前にやる
「ま、いいか」が逃げる自分を作ってしまう

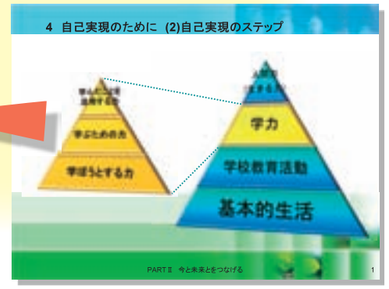
②三兎以上を追う
自分を鍛えようとすること

③常にチャレンジャーとして闘い続けること、そのために志望を高く持つ、継続が大切

④集団を利用する
モチベーションを高く維持できる

⑤感度を上げる
自分の身の周りにあるもの・通り過ぎ行くものを見逃さず的確にキャッチすること。





育友会活動の１年間を振り返って

◉健全育成委員会

今年度の健全育成委員会の活動は、例年の活動を継続して行うこととし、通学時の危険防止の強化と生徒の規律ある生活の推進を図りました。登下校時の交通指導・挨拶運動については、７月及び９月に行いました。挨拶については少し元気がないように感じられましたが、野球部の挨拶は「気持ちが良い」と絶賛でした。このような挨拶が全校に広がればと思います。また、昨年の１０月から鳥取県道路交通法施行細則が一部改正され自転車の傘差し運転、携帯電話使用運転や無灯火走行等に罰則が科せられることを啓発しました。自転車の並進、左側以外走行、イヤホーンの着用等、今後も自転車マナーの向上に努めなければならないと感じました。１２月には、「心でつながる子育て」をテーマとした健全育成講演会を実施いたしました。講師には昨年度に引き続き泉龍寺住職の三島道秀先生をお招きしました。「三島先生の講演会」のリピーターの会員の方も多く参加され、心打たれる講演会となりました。この１年間は私のスケジュール管理不足から、日程に追われてばかりでしたが多くの方に助けられながらここまでこられました。本当に有難うございました。

（委員長　塩谷　俊樹）

◉広報委員会

広報委員会は、今年度「倉東だより」を年４回発行致しました。（５月・７月・１２月・３月）育友会の活動、先生方の思いや学校方針、学校行事、生徒達の学校での様子等の情報を会員の皆様へタイムリーに発信することを目標に活動して参りました。

この活動を通し、今まで携わってこられた広報委員の皆様や先生方の苦労を改めて感じた次第です。また、広報誌作成に当たり多くの先生や本部役員、生徒の皆様にも原稿を依頼し快く受けて頂き感謝申し上げます。皆様本当にありがとうございました。

（委員長　福光恵利子）

◉人権教育推進委員会

１年前の３月１１日に起こった東日本大震災は、私達に命の大切さとは何か、さらには人権とは何かを問いかける出来事になりました。同年１２月１２日、日本漢字能力検定協会（京都市下京区）が、２０１１年を表す漢字に「絆（きずな）」を選定した事もその一つだと思います。

今年度、人権教育推進委員会の活動にあたり「３年間、同じやるなら委員の役を楽しみましょう」とスタートしました。

委員会だより「秋桜」の発行にはじまり、１０月の人権教育 LHR（ロング・ホーム・ルーム）公開授業、人権教育講演会でのワークショップの導入と、会員である保護者の皆さんに如何に事業に参加してもらうかという事を視野に入れて活動した１年間でした。

皆様のご協力とご理解に対する感謝と共に、人権教育への理解を深める保護者の輪が今後も広がっていく事を祈念しお礼のご挨拶といたします。

（委員長　田中　肇）

◉ホームページ運営委員会

ホームページ運営委員会では、育友会や高校の情報を会員の皆様や地域の方々にお届けするよう活動を始めて６年目となり、アクセス累計は８４万件を越えました。（平成２４年１月２９日現在）

今年、学校のホームページがリニューアルされ、学校の様子がたくさん紹介されるようになりました。育友会のホームページでは、委員会ならではの記事や容量を必要とするフォトアルバムなど、特徴を活かしつつ、これまで通り情報発信を続けることを再確認し、活動してまいりました。今後も、皆様のご意見をもとに活動・内容の充実を図っていきたいと思います。ご協力よろしくお願いします。
(http://sotoikuyukai.blog46.fc2.com/　携帯からもアクセスできます。)

（委員長　阿部美代子）

健全育成講演会

講師の三島道秀先生

十二月十日（土）上灘公民館において健全育成講演会を開催し、三十一名の参加がありました。

日野町にある泉龍寺住職の三島道秀先生を講師にお招きし、「心の笑顔」と題し、心でつながる子育てをテーマにご講演を頂きました。三島先生のお話は、実体験に基づく笑いあり涙ありの内容で、実践的で役立つ講演になったと思います。終了後の感想の回収率も七十四％と協力的であり、その内容も「笑顔と挨拶から始めよう」、「情をなくさないようにしよう」等、自分の行動に対して建設的なものばかり。このことからも、本講演会での効果は大であり、「親のやる気を促すための講演」という当初の目的は、概ね達成できたと判断しています。今後共、当委員会がこういった場、きっかけ作りとして提供することで、日頃、生徒の指導に携わる親・先生方への刺激剤となれば、生徒の健全育成に対して自ずと良い結果が見えてくると考えます。

（健全育成副委員長　大塚　芳政）

夢のラグビー全国大会「花園」出場を終えて

保護者　土橋　達也

生徒みんなの夢が叶った瞬間であった。昨年１１月、県内予選大会を見事勝ち抜き、３年ぶり１０回目の全国大会出場を決めた。

全国大会出場が途切れた数年前から少しずつ部員が減少し、一年半前は、僅か３人だけの部員で毎日練習を重ねていた。そんな中でも、自分たちの夢をあきらめず、日々練習と部員勧誘に明け暮れた。そのかいあり、ようやくステージが整った。

予選大会決勝戦では、どんな結果になろうが、生徒たちを褒めてやろうと心に決めていた。そんな中、見事に勝利。目頭が熱くなった。

全国大会では、実力差がある中、懸命のタックルで奮闘するも初戦敗退。グランドを後にする選手たちの目には涙が浮かんでいた。

ラグビーは皆の力を結集させて行うスポーツ。誰か一人でも欠けたら、決して勝てないスポーツ。そんなスポーツで全国の舞台を経験した子供たちは、これからの人生の大きな糧を得たに違いない。

表彰状

【皆勤賞】

三組　迫田　晃祐　　田辺　悠馬
福井　啓太　　山下　桂
四組　朝倉　恵　　石橋　駿介
田平　修英　　中江　紀子
五組　谷口　桃子　　灘本　啓太
六組　朝倉　達也

（全日制）

表彰状

【全国高等学校定時制通信制教育振興会長賞】
優秀生徒表彰
清水　祐輔
根本　国恵

【鳥取県高等学校定時制通信制教育振興会長賞】
岡本　美香
根鈴　晶衣

（定時制）

部活動成績

◎陸　上
（日本ジュニア室内陸上競技大阪大会）
萩原くらら　走り高跳び　１位

◎囲　碁
（全国高等学校囲碁選抜大会出場）
立木琢也

編集後記

図らずも広報委員長になって、ようやく一年が終わろうとしています。

一番下の子の子供会保護者会長との兼務もあり忙しさに翻弄され、通年の広報誌を継承するのが精一杯だったように思います。

今から思えば、もっと新しい企画を委員の皆様と相談し、読者の皆様の興味のある事柄を特集していけたら良かったと後悔しているところです。

身近な疑問で追随できるような、分かりやすい話題を、保護者同士の経験や知恵を出し合って、皆さんの参考となる広報誌を今後目指していけたら素晴らしいことだと思います。

いずれにしても「後の祭り」「後悔先に立たず」で深く反省しています。

最後になりましたが、この一年間、微力な私を支えていただいた広報委員の皆様をはじめ、担当の先生方には本当にお世話になり感謝しています。私は、来年も引き続き広報委員として携わっていきます。今後の広報活動に、少しでもお手伝いできるよう頑張りたいと思いますので、これからも宜しくお願い致します。

（福光恵利子）